

江別市経済部企業立地推進室

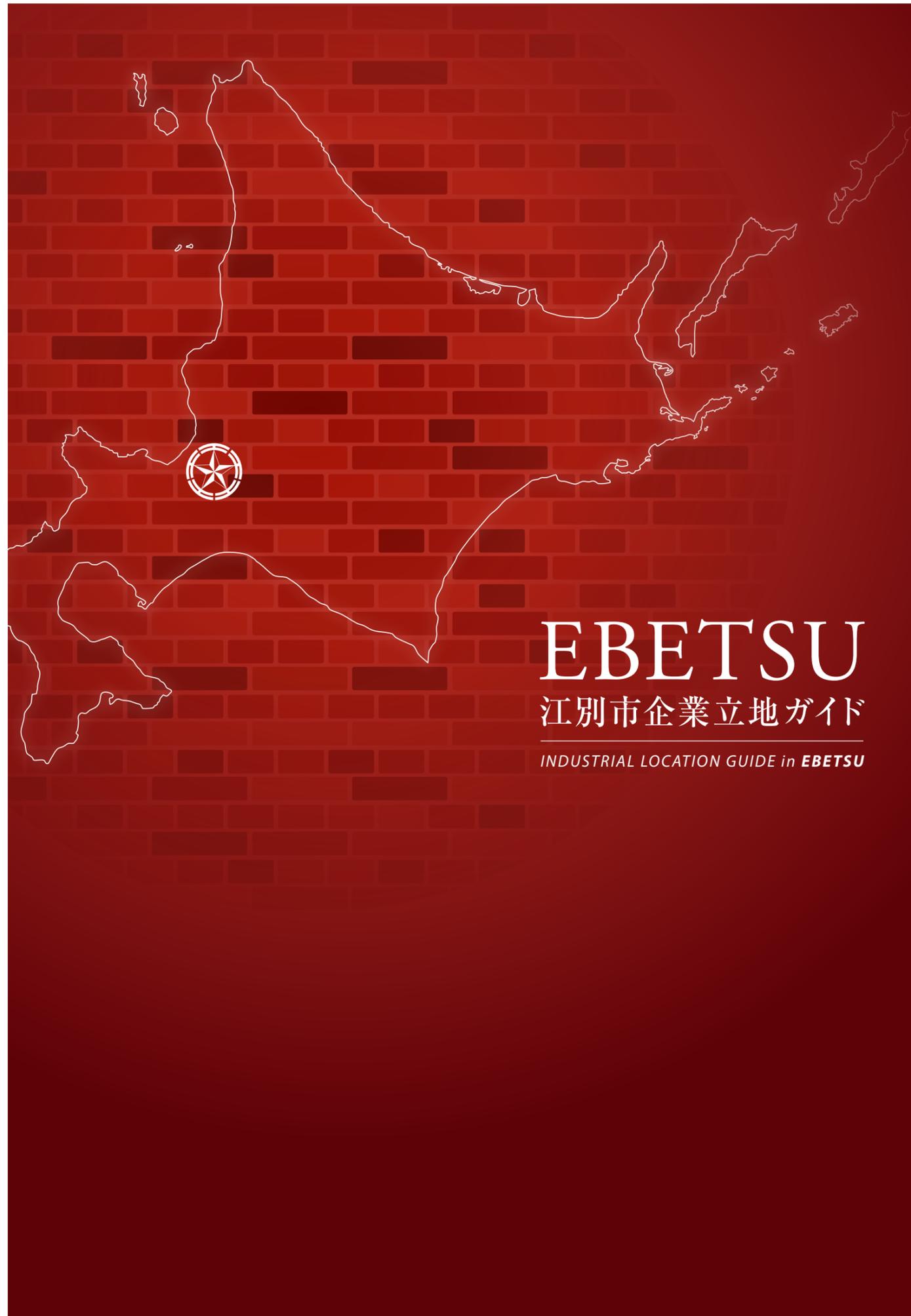
〒067-8674 北海道江別市高砂町6番地
TEL 011-381-1087 FAX 011-381-1072
Email kigyouricchi@city.ebetsu.lg.jp
URL www.city.ebetsu.hokkaido.jp/

2024.1



歴史的建造物「旧ヒダ工場」を
リノベーションした商業施設
「EBRI(エブリ)」

江別市には、明治24年のれんが製造開始以来120年以上もの窯業の歴史があります。れんが等の窯業製品は、江別市の産業として市民の生活を支えるとともに、文化的にも大きな影響をもたらしました。「旧ヒダ工場」は、昭和16年に設立された旧肥田製陶の工場で、排水用や集合煙突用の素焼管、セラミックブロック等を生産していました。平成10年に廃業しましたが、江別市が歴史的建造物の保存・活用のために買い取り、平成14年には建物の一部を活用した「江別グレシャムアンテナショップ」をオープン。平成16年に「江別のれんが」が北海道遺産に認定、平成21年には旧工場が経済産業省の近代産業遺産に認定されました。その後、平成28年に民間資本により飲食や物販店が入った商業施設「EBRI」にリノベーションされ、往時の面影を残した江別の新たな「顔」として市民に親しまれています。



優れた交通アクセス

空路・陸路・海路ともに恵まれた位置

豊富な人材

札幌圏の人材確保が可能

暮らしやすい環境

子育てを応援する施設が多数



歴史的建造物「旧ヒダ工場」をリノベーションした商業施設「EBRI(エブリ)」

PROFILE

■面積 187.38km²
市街化区域 2,938ha
(工業系:561ha 商業系:171ha 住居系:2,206ha)

■人口 121,056人(令和2年国勢調査)
■世帯 53,977世帯(令和2年国勢調査)

大都市札幌に隣接し、空港・港湾への充実したアクセスが魅力



■ 国外、国内、道内各地の輸送に最適

江別市は、北海道経済の中心札幌市がある道央圏に位置し、空港や港湾に加え鉄道網も整備され、国内外へのアクセスに最適な地です。また、道央自動車道や道東自動車道に加え、国道、道道などの幹線道路も整備され、道南、道東、道北など道内各地への物流に最適です。

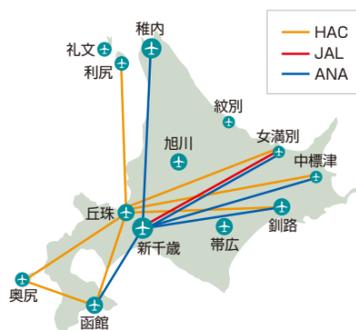


陸路(道路)

北海道を士別から函館まで結ぶ道央自動車道が市中央部を通り、市内には「東」と「西」の2つのICがあります。また、道央道に接続する道東自動車道は、北海道を横断して釧路まで延伸され、道央と道東を短時間で結んでいます。江別市には、主要国道である12号や道道江別恵庭線(46号)、道央と道北とを結ぶ国道275号が通り、また、千歳と小樽を結ぶ国道337号が地域高規格道路として現在整備中です。

空路

北海道内には13の空港があり、国内外の空港を結ぶ多くの路線が整備されています。なかでも新千歳空港には、国内27路線、海外26路線(令和5年11月現在)と、国際チャーター便が就航。24時間体制で、深夜貨物便も運航しています。



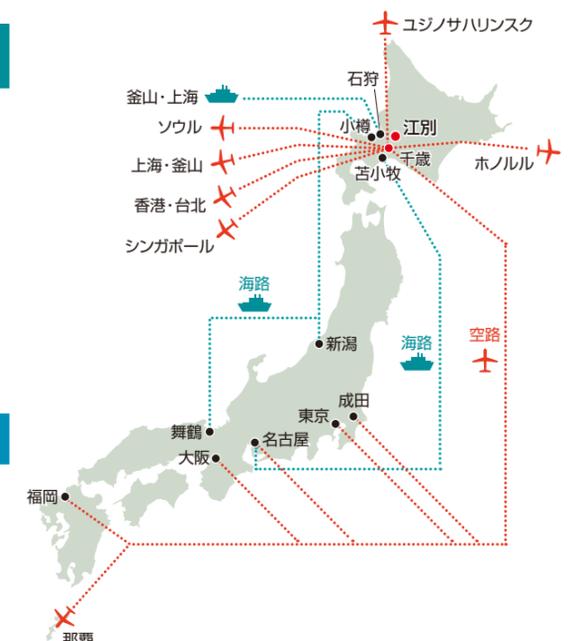
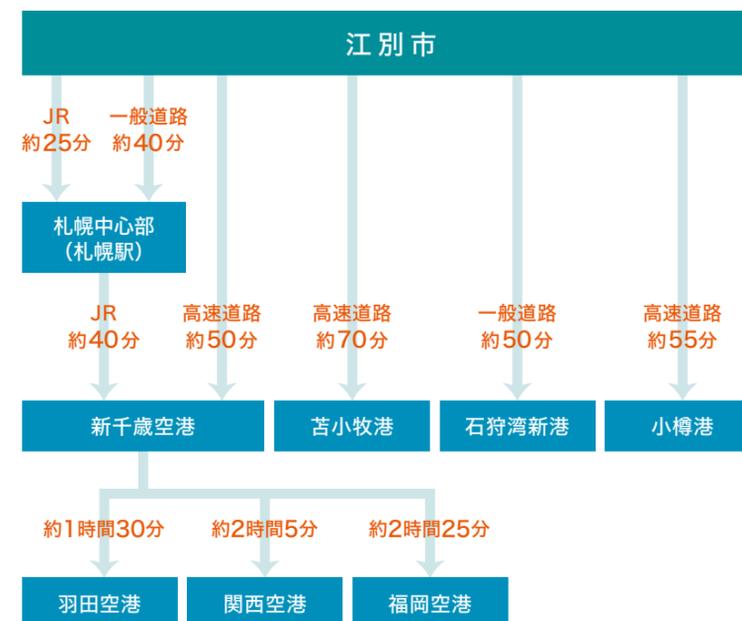
陸路(鉄道)

全国有数の取扱量を誇る「札幌貨物ターミナル駅」まで市内の工業団地から車で約20分。同駅からは道内34便・道外125便(令和5年11月現在)が運行され、特に札幌と東京・名古屋・大阪間のコンテナ列車は翌日配送体制が確立しています。



海路

道央圏には小樽港、苫小牧港、石狩湾新港が整備され、なかでも苫小牧港は、国内多数の港湾とRORO船、定期コンテナ船、カーフェリーで結ぶ、道内の港湾取扱貨物量の半数を占める拠点港湾です。石狩湾新港は札幌圏の都市型港湾として、物資基地やエネルギー基地が整備され、韓国、中国の間には、外航コンテナ航路が開通されています。小樽港には日本海側の新潟、舞鶴との物流を担う大型高速フェリーが就航しています。



大学や研究機関、札幌圏の豊富な労働力が 企業活動をサポート



■豊富な人材、労働力

北海道の平均給与額は、本州の7割から8割程度の水準で、正社員・パートともに人件費の抑制が可能です。
最近の子育て世帯の転入によるこの世代の社会増に加え、近隣市町村からの通勤も可能なため、市内外の方が多数江別市内で働いています。

■江別市周辺市町村人口分布図



(令和2年国勢調査)

■一般労働者所定内給与額(月額)



■短時間労働者所定内給与額(1時間あたり)



※所定内給与額:基本給、職務手当、精勤手当、通勤手当、家族手当などを含む
(出典:厚生労働省)

■江別市プラス道央圏の大学

江別市を含む道央圏には、多数の大学院・大学・短大・専門学校があり、優秀な人材を輩出しています。
就職先に地元を希望する卒業生も多く、人材確保においても優位性があります。



江別まちなか仕事プラザ

江別まちなか仕事プラザは、江別市で働くことを考えている方と市内企業の雇用確保を支援するため、江別市が設置した施設です。
本施設では、市内企業向けの人材確保力向上をテーマとしたセミナーの開催や、企業説明会による人材のマッチング支援、企業交流会等による市内企業の認知度向上に向けた支援など市内企業の雇用確保に向けた取組を促進しています。

■雇用実績

令和3年度	122人
令和4年度	135人



■研究機関

市内にある食品加工研究センター、情報技術研究所、北電総合研究所の3研究機関に加え、道央圏には、工業試験場、中央農業試験場など多くの公設試験研究機関のほか、(独)産業技術総合研究所(産総研)など多数の研究機関が立地しています。

●(地独)北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 食品加工研究センター

食品の加工技術をはじめ品質向上、生産工程の改善など、原材料から製品まで一貫して支援する総合的な試験研究機関です。食品加工に関する研究をはじめ、技術相談や現地技術支援、企業等との共同研究、受託研究のほか、試験分析機器や加工機器の利用もできます。食品衛生法上の施設基準に適合する施設であるため、市場調査を目的とした試作品の試験販売も可能です。



●(株)北海道情報技術研究所

施設内には、専用高速通信回線を利用した遠隔教育スタジオ設備等の最先端の研究設備があり、教育・研究機関と連携して情報技術の研究開発を行っています。

●北海道電力(株)総合研究所

電力の安定供給確保のための技術開発に加え省エネ技術の研究、道内のエネルギー需要や経済動向等の調査分析等に取り組んでいます。

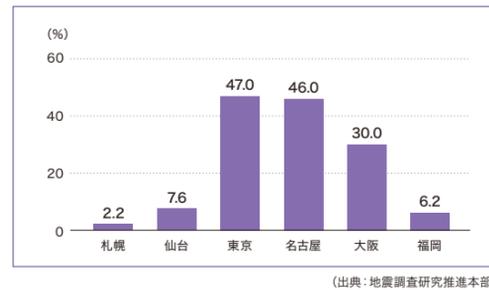
安定供給のインフラ、低い自然災害リスク、快適な環境で事業継続を実現



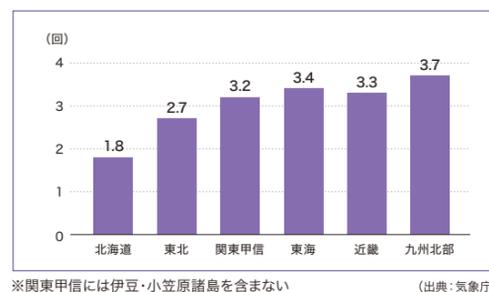
■ 自然災害リスク回避で、事業活動も安心

札幌圏は、今後の大規模地震発生確率が低いといわれているうえ、台風の上陸は稀で接近数も本州に比べ少ないことから、リスク分散の地として最適です。また、江別市は内陸部に位置し、津波や塩害の心配もありません。

■ 今後30年以内の震度6弱以上の地震発生確率



■ 年間台風接近数 (過去30年間(平成4年～令和3年)平均)



■ 企業にとって不可欠な産業インフラを安定供給



電気

北海道電力(株)などが供給



上下水道・地下水

上下水道：江別市が整備供給
地下水：工業団地内取水可(要相談)



ガス

都市ガス：旭川ガス(株)が供給
LPガス：10社以上の市内企業が供給



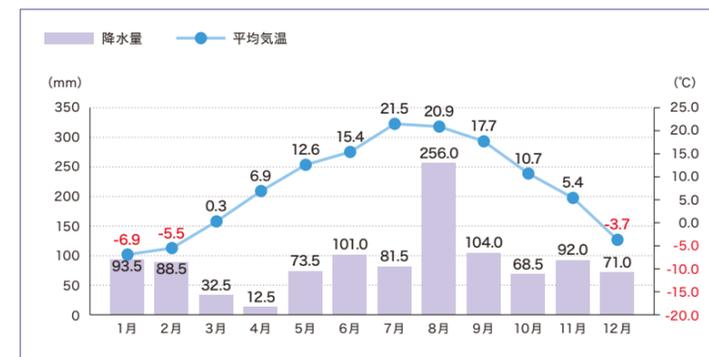
通信

東日本電信電話(株)、北海道総合通信網(株)などの光回線が利用可能

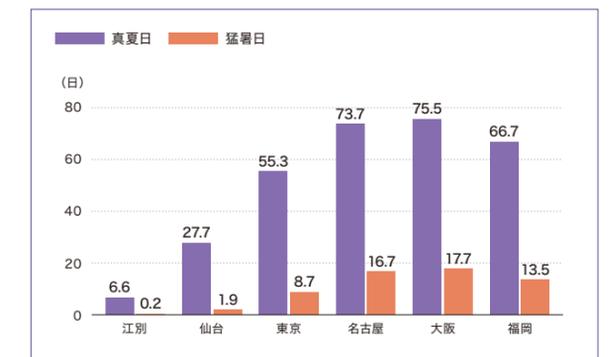
■ 季節の変化を感じられ、働く人にも優しい快適な環境

北海道には明瞭な四季の変化があります。夏は湿度が低くさわやか、冬は万全の除雪体制を整え、1年中快適に過ごせます。

■ 江別市の平均気温、降水量 (令和4年別月別値)



■ 年間真夏日・猛暑日数 (過去10年間(平成25年～令和4年)平均)



● 冬の暮らし

〈除雪・排雪体制〉

北海道は冬が寒く、雪が大変というイメージがありますが、多数の除雪車等により除雪体制を整えています。江別市では、深夜までに10cmを超える積雪があった場合に、除雪作業を夜間に行います。通勤・通学時には完了しているので、雪で交通が麻痺することはほぼありません。幹線道路は積雪の状況に応じて適時、生活道路は自治会が中心となって排雪を行っています。

除雪と排雪の違い

除雪：道路上の雪をかき分け、通行可能なスペースを確保する作業
排雪：雪をダンプトラックに積み込み、雪堆積場へ運搬する作業

〈寒冷地向け住宅〉

北海道の住宅には、雪や寒さから暮らしを守る工夫がされています。省エネルギー効果に優れた断熱外壁や多重窓を用いた冬でも暖かい高気密高断熱住宅が一般的です。

近年で記録的大雪となった翌日の午前7時頃の様子 (平成28年12月)

工業団地(江別RTNパーク)内道路



安心して暮らせる都市機能と自然が調和するまち



■ 恵まれた自然環境

市の南西部に位置する「道立自然公園野幌森林公園」は約2,050haの広さを誇り、平地原生林も残ります。公園内には目的に合わせた散策コースがあり、夏は森林浴、冬は歩くスキーが楽しめるほか、四季を通した様々な動植物の観察もできます。また、市の中央部を日本三大河川の一つである石狩川(長さ268km)が流れ、夏にはヨットの帆が揺れ、秋には渡り鳥が人々の目を楽しませてくれます。

■ 「れんが」と「やきもの」

江別市では、北海道の開拓に大きく寄与したれんがの製造が明治24年(1891年)に始まり、現在も2つの工場で作られ続けています。江別産れんがは全国に流通しており、市内にも、民家、サイロ、倉庫など数多くのれんが建造物が現存します。また、陶芸も盛んで、毎年7月に開催される「えべつやきもの市」には、全道各地から多くの窯元などが出店し、お気に入りの焼き物を求めて多くの方が訪れます。

■ 発展する中心市街地

江別市の中心部にあるJR野幌駅周辺地区では、快適な中心市街地をつくるため「江別の顔づくり事業」を進め、令和2年3月に事業が完了しました。「江別の顔づくり事業」では、鉄道の高架化による南北交通の確保、区画整理事業による道路や駅前広場の整備、街路事業等による道路網の再整備を行いました。

■ 市民も参加できるイベント

夏は「えべつ北海鳴子まつり」「江別市民まつり」、冬は「えべつスノーフェスティバル」「原始林クロスカントリースキー大会」など、四季折々のイベントが開催されます。いずれも参加型のイベントで、多数の市民が集います。



野幌森林公園(クリの木)



えべつやきもの市



JR野幌駅北口



えべつスノーフェスティバル

保育園・幼稚園から大学まで 子育てを応援

● 保育施設

江別市には、待機児童ゼロを目指した37か所の保育施設があります。また、すべての幼稚園で時間外の保育を行っており、就労や職場復帰にも柔軟に対応できます。

■市内保育施設・幼稚園数

種別	施設数
保育所	16
認定こども園	10
小規模保育所	8
家庭的保育所	0
事業所内保育所	3
認可外保育所	2
幼稚園	5

(令和5年4月現在)



病児・病後児保育により子育てと仕事の両立を応援

子どもが病気のときに、就労している保護者は子どもの預け先に困ることがあります。江別市には、このような時に乳幼児から小学6年生まで対応できる小児科クリニックに併設された病児病後児保育施設があります。

● 医療施設

江別市立病院は、地域の中核病院としての役割を果たす総合病院で、子育てに欠かせない小児科や産科医療も充実しています。また、江別市夜間急病センターでは、年中無休で内科小児科の患者に対応しています。

■市内医療施設数

種別	施設数
診療所	54
小児科	8
産婦人科	1
病院	6
歯科診療所	52

(令和5年4月現在)



江別市立病院

● 教育

〈小学校・中学校〉

市内には、小学校17校、中学校9校(うち私立1校)があり、それぞれ特色ある学校づくりのために、地域の特性に合わせた独自の取り組みを行っています。

学校選択制

隣接する小・中学校区へも通える学校選択制を実施しています。

学習サポート

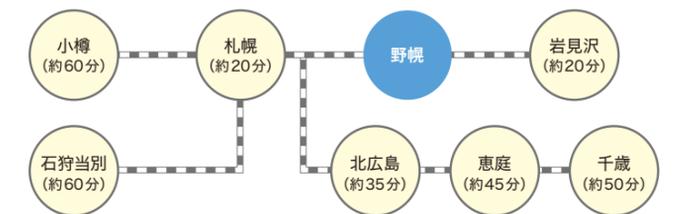
退職教員の活用などで複数教員によるチーム・ティーチングや補充学習を行い学力向上を図っています。



〈高等学校・大学〉

市内には、高等学校5校、短期大学1校、大学4校があり、充実した教育環境にあります。また、通学可能な市町村には、多数の高等教育機関(P5参照)があり、電車やバスなどの公共交通も充実しているため、進学先として幅広い選択肢があります。

■JR野幌駅から各駅までの所要時間



屋内の子育てひろば ぼこあぼこ 利用料無料

令和4年度 年間利用者数 約68,000人

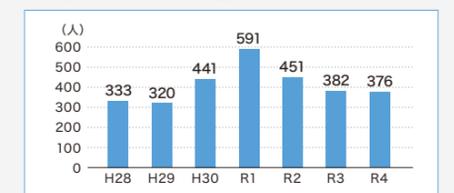
大型の商業施設内につくられた季節、天候を気にせずに遊べる子育て支援施設です。子育て支援コーディネーターが、保育園、幼稚園や託児所などの情報提供のほか、子育ての相談にも応じています。そのほか、市内には8つの子育て支援センターがあります。



子育て世帯増加中

近年、子育て環境が整っている江別市を、生活拠点として選ぶ家庭が増えています。

■江別市の14歳以下の社会増減数(転入・転出)



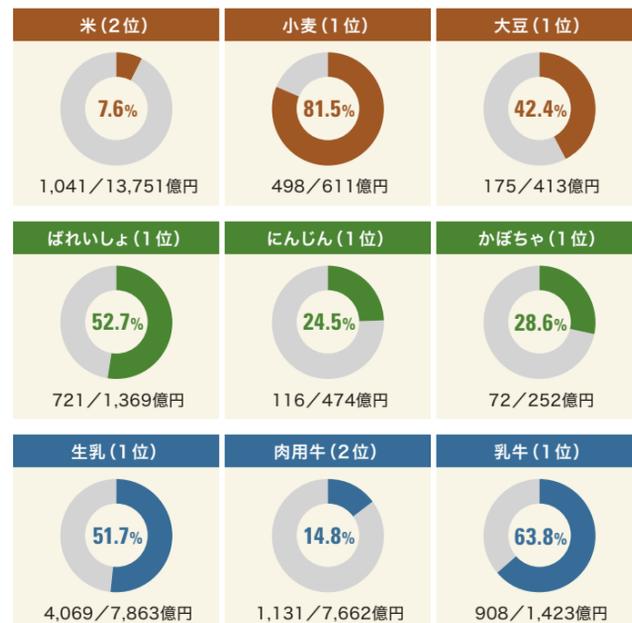
安心・安全で豊富な食を活かした積極的な健康づくりの取り組み



食料供給基地 北海道

北海道の農業産出額は1兆3,108億円と国内での14.8%のシェアを占め、多くの農畜産物が全国第1位の生産量で、我が国最大の食料供給地域として重要な役割を果たしています。

令和3年 道内各種産出額上位品目(北海道/全国)



江別の特産品

●ブロッコリー

収穫量が道内2位・作付面積が道内3位(令和3年度)。甘くて新鮮な朝採りブロッコリーは、市内10数か所の直売所で購入することができます。また、市内のレストランや居酒屋では、江別野菜を使ったメニューが提供されています。



●えぞ但馬牛

江別の豊かな自然でのびのびと育てたブランド和牛。高い肉質を誇る兵庫県但馬牛系統を昭和46年から導入し、地域の中で繁殖改良を続けてきました。きめ細かなサンとやわらかい食感が特徴で、食べると口の中であつらひ霜降り肉は道内外から高い評価を得ています。えぞ但馬牛は、市内飲食店などで味わえるほか、年に数回行われる直売会や、えべつ農業まつり等のイベントで購入できます。



●小麦(ハルユタカ)

高たんぱくで栄養面・食味ともに優れたハルユタカ。収量が安定しないことから“幻の小麦”と言われていましたが、市内農業者が「初冬まき栽培」技術を確立したことで収量が安定し、平成26年には全国一の生産地になりました。ハルユタカを使った麺やパンはモチモチとした食感が特徴で、産学官連携により地域ブランド「江別小麦めん」も誕生しています。

江別から北海道の食をパワーアップ

江別市は大学や研究機関が集積しており、食の付加価値向上を図るための環境が整っています。

「食品の有用性評価、食品加工」の拠点として、全国的に注目を集めるユニークな取組も行われており、食と健康のまちづくりを推進しています。

●「食の臨床試験システム」江別モデル

北海道情報大学では、食の機能性を評価・研究する臨床試験を実施しています。食の持つ健康機能を明らかにすることで、ヘルシーDoの認定等、食の付加価値向上につながります。また、試験に参加するボランティアには「えべつ健康カード」が発行され、健康管理にも役立っています。



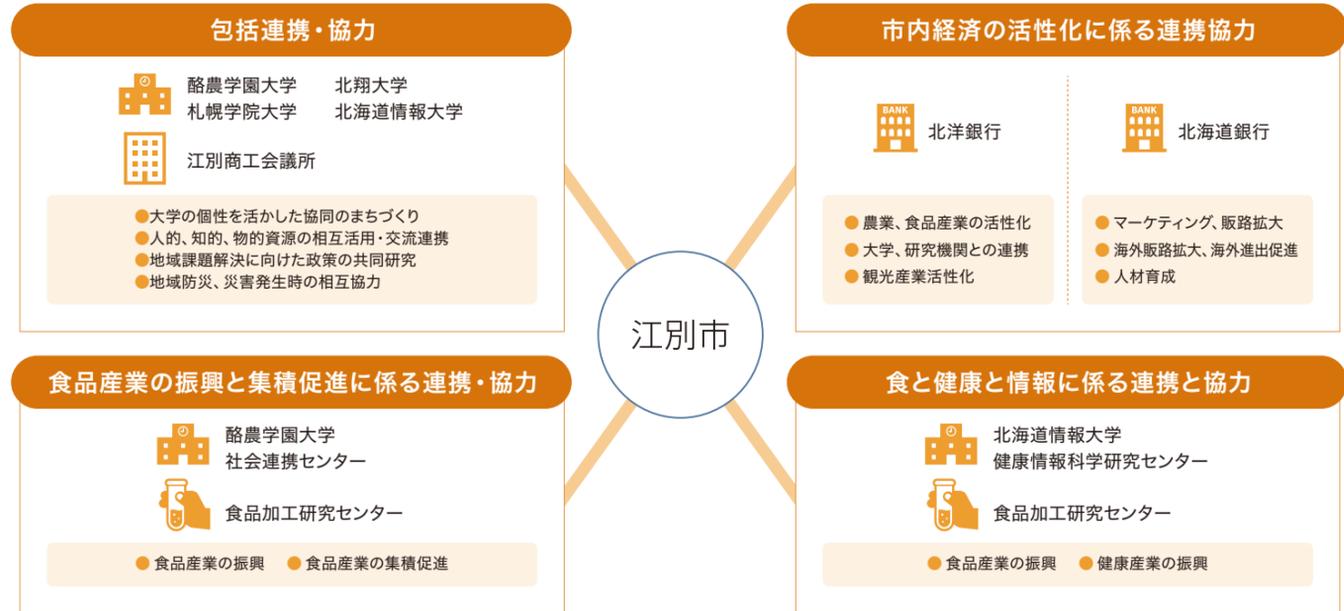
「ヘルシーDo」とは

ヘルシーDoとは北海道食品機能性表示制度の愛称で、健康食品等に含まれている機能性成分について、「健康でいられる体づくりに関する科学的な研究」が行われた事実を北海道が認定するものです。北海道の食が持つ「安全・安心・おいしい」に、「健康」という新たな付加価値が加わります。



連携協定によるサポート体制

江別市では、包括連携により地域課題解決の取り組みが行われる環境整備や活性化のための全庁的なプロジェクトの推進を目指しているほか、防災・災害時の相互協力のため市内4大学、商工会議所と協定を締結しています。また、試験研究機関や金融機関と連携し、食品産業など市内企業の事業活動をサポートする体制を整えています。



だれもが健康的に安心して暮らせるまち

江別市は、平成29年4月に「健康都市えべつ」を宣言しました。市民のだれもが元気で健やかに楽しく毎日が送れるよう健康寿命の延伸を図り、生活の質を高めながら、心豊かに生活できる環境づくりを目指しています。

宣言の4項目

- ことごとく体の健康に関心を持つ
- 正しい生活習慣を守る
- 自分の健康状態を確認する
- 健康づくりの輪を広げる



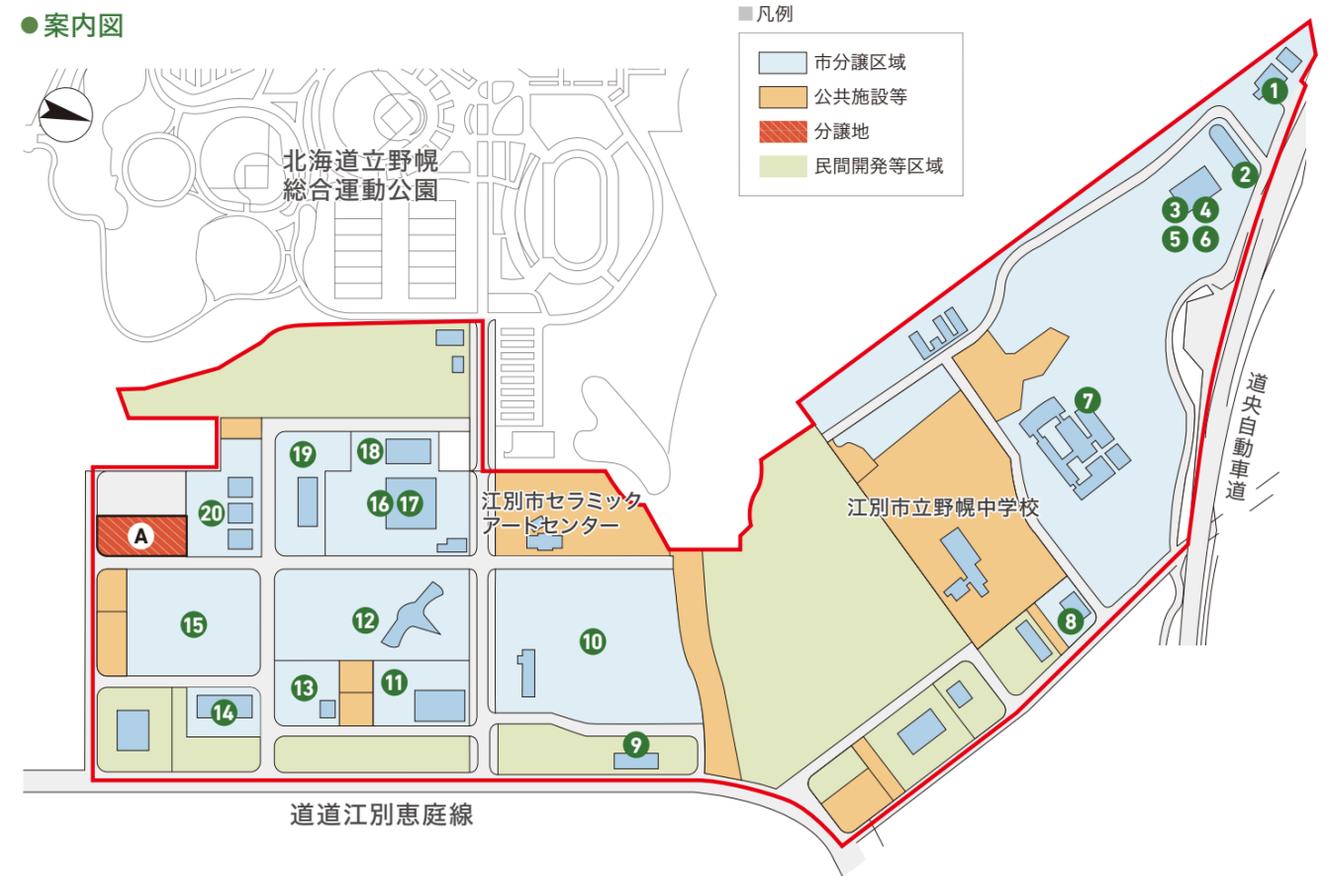
「Eリズム」

年齢や運動経験に関係なく取り組めるようつくられた江別市オリジナルのリズムエクササイズ。手軽に有酸素運動ができ、日頃の運動不足を解消できます。

物件情報(分譲地)



案内図



土地 企業イメージを高めるための環境を整備 江別RTNパーク

江別RTNパークは、米国で学術研究の開発モデルとして成功したりサーチ(R)・トライアングル(T)・パークに倣い、江別市が日本の北に位置することからN(north)をつけ、RTNパークと命名されました。大学や各種研究機関、試薬の研究所など先端技術関連施設が集積し、現在は、食品関連産業向けに分譲中です。

RTNパークは安心・安全といった企業イメージを高めるための環境が整った団地で、周辺には大学に加え、食品加工研究センター(P6参照)などの研究機関や関連する企業などが立地しています。



概要

- 所在地 …… 西野幌ほか
- 用途地域 …… 準工業地域(建ぺい率60%、容積率200%)
- 地質・地盤 …… 第3種、支持層となりうる深さ6m(N値20以上)
- 電力 …… 6,600V
- 用水 …… 江別市上水道・地下水
- 排水 …… 江別市公共下水道
- ガス …… LPガス

■各地までの距離、移動時間(自動車)

- 札幌中心部 …… 約20km、約40分
- 石狩湾新港 …… 約40km、約55分
- 江別IC …… 約6km、約15分
- 新千歳空港 …… 約40km、約55分
- 苫小牧港 …… 約60km、約75分(高速道路)
- JR野幌駅 …… 約3km、約7分

■立地可能業種 …… 情報技術産業、バイオテクノロジー産業、先端技術系産業、食品関連産業
※現在、食品関連産業に限り分譲しています

分譲地面積(実測値)

	m ²	坪
A	7,535.27	2,283.42

立地企業

- 1 雪印種苗(株) 技術研究所
- 2 (学) 電子開発学園 国際交流センター
- 3 (株) 北海道情報技術研究所
- 4 (学) 電子開発学園 メディア教育センター
- 5 北海道情報大学 eラーニング推進センター
- 6 北海道情報大学 メディアクリエイティブセンター
- 7 北海道情報大学
- 8 (株) セロテック 研究所
- 9 敷島製パン(株) Pasco札幌セントラルキッチン
- 10 ファナック(株) 北海道支店
- 11 北海道電気技術サービス(株)
- 12 (株) 日本デジタル研究所 札幌研究開発センター
- 13 エクシオグループ(株)
- 14 京セラクリスタルデバイス(株)【閉鎖・建物あり】
- 15 生活協同組合コープさっぽろ【未操業】
- 16 コープフーズ(株) 江別工場
- 17 (株) 十勝大福本舗 江別工場
- 18 北海道はまなす食品(株)
- 19 北海道エア・ウォーター・アグリ(株) 江別工場
- 20 草野作工(株) 発酵セルロース製造工場



1 雪印種苗(株) 技術研究所



10 ファナック(株) 北海道支店



11 北海道電気技術サービス(株)



12 (株) 日本デジタル研究所 札幌研究開発センター



16 コープフーズ(株) 江別工場



19 北海道エア・ウォーター・アグリ(株) 江別工場

物件情報(民有地・建物)



土地 国道275号に隣接したアクセス抜群の用地 江別第1・第2工業団地

札幌市北東に延びる国道275号に隣接する江別第1工業団地と江別第2工業団地。利便性に富む交通アクセス環境を活かし、製造・流通関連企業の集積を目指しています。
※両団地とも完売しましたが、民間の売地情報等を提供できる場合があります。経済部企業立地課へお問い合わせください。

概要

江別第1工業団地

- 所在地 工業町
- 総面積 197.7ha
- 用途地域 工業専用地域、一部工業地域(建ぺい率60%、容積率200%)
- 地質・地盤 第4種A、支持層となりうる深さ12~18m
- 電力 江別工業団地協同組合による共同受電
- 用水 江別市上水道
- 排水 江別市公共下水道または企業内処理
- ガス LPガス

江別第2工業団地

- 所在地 角山
- 総面積 94.3ha
- 用途地域 工業専用地域(建ぺい率60%、容積率200%)
- 地質・地盤 第4種A、支持層となりうる深さ12~18m
- 電力 6,600V
- 用水 江別市上水道
- 排水 江別市公共下水道または企業内処理
- ガス LPガス



各地までの距離、移動時間(自動車)

- 札幌中心部 約20km、約35分
- 石狩湾新港 約30km、約40分
- 江別西IC 約4km、約7分
- 新千歳空港 約55km、約50分(高速道路)
- 苫小牧港 約70km、約70分(高速道路)
- 江別駅 約5km、約10分

江別工業団地協同組合

組合では、組合員企業(第1工業団地内企業)へ共同受電による安価で安定した電力を供給しています。その他に福利厚生、広報、安全衛生、環境事業等も行っています。



建物 江別駅から徒歩1分のビジネスビル えべつみらいビル

えべつみらいビルは、地元の有志でつくるまちづくり会社やこれに賛同した道内ゼネコン等が出資した(株)SPCみらいが建設。JR江別駅から徒歩1分の好立地で、JR札幌駅から約25分と札幌からの通勤圏内で、市内・市外からの人材確保も容易です。また、ビル専用の駐車場もあり、車通勤の方にも対応できます。3・4階は、コールセンターやIT企業向けに整備した室内無柱空間やフリーアクセスフロアで使いやすい空間です。1・2階も、ご希望に応じて間仕切りすることができます。

概要

- 所在地 2条5丁目9番2
- 建築年月 平成19年11月
- 構造 鉄骨造 4階建て
- 所有 (株)SPCみらい
- 電力 引込可能高圧線6,600V
- 通信回線 光回線、メタル回線(ビル内引込済)



建物 起業家向け小規模貸し事務所 賃貸テレワーク施設 元町アンビシャスプラザ

元町アンビシャスプラザは、ベンチャービジネス向けの小規模事務所やテレワークスペースを設置している施設です。地元の事業者などで設立した(株)元町開発公社が運営しています。

概要

- 所在地 元町11-5
- 建築年月 平成13年4月
- 構造 鉄骨造 2階建て
- 所有 (株)元町開発公社



※市内のテレワークスペース設置施設の情報を提供しています。経済部企業立地課へご確認ください。

土地 インターチェンジ隣接の物流施設向け用地 (仮称)江別東IC 特定流通業務施設用地

当計画用地は道央自動車道(江別東IC)と道央圏連絡道路(国道337号)の結節点に位置し、道内各地や空港、港湾へのアクセスも良く、物流施設の立地に適しています。

「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律(物流総合効率化法)」または「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律(地域未来投資促進法)」に基づく計画の認定を受けると開発行為申請が可能になります。



気軽に出かけられる 近場のお出かけスポットで休日を満喫



道央圏にはレジャースポットが多数

江別市周辺は、海や山などの豊かな自然に恵まれています。
同時にショッピングやスポーツ観戦、芸術とのふれあいなど都市型の魅力もあわせ持っています。

温泉

北海道は温泉の宝庫。仕事の疲れなど、心身ともに癒してくれます。日帰りで気軽に足を運べます。

- 定山溪温泉 (札幌市)
- ふとみ銘泉 (当別町)
- 南幌温泉 (南幌町)
- たっぷの湯 (新篠津村)

スポーツ観戦

札幌市など江別市近郊では、北海道日本ハムファイターズや北海道コンサドーレ札幌、レバンガ北海道など北海道を本拠地とするプロスポーツチームの試合を観戦できるほか、冬はスキージャンプやスケートの大会も開催されます。

- 札幌ドーム (札幌市)
- 大倉山ジャンプ競技場 (札幌市)
- ES CON FIELD HOKKAIDO (北広島市)

芸術・文化

優れた芸術作品を鑑賞できる施設や、北海道の自然・歴史・文化を学べる資料館、博物館などが多数あります。

- 江別市セラミックアートセンター (江別市)
- 札幌芸術の森 (札幌市)
- 北海道立近代美術館 (札幌市)
- 北海道立総合博物館 (札幌市)

レジャースポット

江別市内外には、大規模な公園やキャンプ場など自然を満喫できる施設や野幌総合運動公園などのスポーツ施設があります。近隣には海や山もあり、海水浴やスキーなど様々なレジャーが楽しめます。

- 道立自然公園 野幌森林公園 (江別市・札幌市・北広島市)
- 国営滝野すずらん丘陵公園 (札幌市)
- モエレ沼公園 (札幌市)
- 支笏湖 (千歳市)

ショッピング

JR札幌駅周辺や地下鉄大通駅周辺などには、ショッピングスポットが豊富。買い物の合間に緑豊かな大通公園で休憩するのもおすすめ。また、アウトレットモールや大型書店もあり、家族でショッピングを楽しめます。

- JRタワースクエア (札幌市)
- 三井アウトレットパーク (北広島市)
- 江別蔦屋書店 (江別市)